

## 臨床研究に関する公開情報

令和元年7月11日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

#### 研究課題名

緊急度判定（院内トリアージ）における、頭痛が主訴の患者において看護師が低緊急・非緊急と判定した患者の中に存在する重篤な疾患の割合 ケースコントロール研究

#### 研究期間

臨床研究審査委員会承認日～二年間を予定しています。

（調査対象期間：西暦 2015 年 7 月～2018 年 12 月）

#### 対象

2015 年 7 月 1 日～2018 年 12 月 31 日に救命救急センターを受診した全患者さんのうち看護師の緊急度判定において主訴欄の頭痛にチェックが入っている患者さん

#### 研究目的

頭痛が主訴で来院した患者さんにおいて、院内トリアージで看護師が低緊急、非緊急と判定した患者さんの中に見逃されてはいけない疾患（脳卒中・髄膜炎）がどの程度存在するのか、また見逃された患者さんの共通点を明らかにすることです

#### 方法

診療記録より臨床情報を収集します。

臨床所見（年齢、性別、バイタルサイン）

問診内容（発症時間・様式、誘発因子、痛みの性質、痛みの部位・放散、痛みの程度、随伴症状、時間経過、治療）

個人特性（アレルギー、内服薬、既往歴、最終食事時間）

研究成果は学会、および論文、学位授与機構のレポートにて公表します。

#### 個人情報

臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

研究責任者：高橋優太（たかはしゆうた）

兵庫県立尼崎総合医療センター

救命救急センター初療室 看護師

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL: 06-6480-7000 FAX : 06-6480-7001